

Fonds Masatoshi Sagara
La chanson française

相良匡俊氏寄贈
シャンソン関連資料

2016年10月3日(月)公開
貸出・閲覧スタート

寄贈資料の概要

2013年に逝去された元法政大学教授相良匡俊(さがらまさとし)氏の所蔵資料が、ご遺族より寄贈されました。相良氏はフランス近代史がご専門でしたがシャンソンへの造詣が深く、長年に亘り、19世紀から20世紀にかけてのシャンソンに関する資料を集めていらっしゃいました。寄贈資料によってこの時期に特徴的に現れた楽譜印刷の変遷を辿ることができます。

寄贈資料は、楽譜 289点、和書 51点、洋書 975点、録音資料 116点、合計 1431点(2016年9月末現在)です。

一部の資料は劣化が激しいため、デジタル化した資料を提供します。

すべて当館 OPAC (<https://opac.tokyo-ondai-lib.jp>) から検索が可能です(但し、一部非公開)。

利用案内

相良匡俊氏寄贈「シャンソン関連資料」は、東京音楽大学附属図書館利用規程に則って運用しています。

原則として資料は、館内利用です。利用方法等詳しくは図書館にお問い合わせください。

学外・一般の方の利用は事前に申し込みが必要です。

詳しくは東京音楽大学附属図書館のサイトをご覧ください。
詳しいは東京音楽大学附属図書館のサイトをご覧ください。

Tokyo college of music library
東京音楽大学附属図書館

シャンソン関連資料紹介

相良氏は、シャンソンの楽譜の印刷技法についての研究もされてきました。コレクションの中から相良氏が「スター誕生と絵入り印刷物」*で解説した原稿（請求記号：XDM0.49/Sa18/1）を元に、特徴的な印刷技法の楽譜を紹介します（<>の部分が相良氏原稿からの引用です）。

*2004年7月29日仙台市博物館ホールで行われた「絵入り本ワークショップ」での講演

Le chansonnier français



Le chansonnier français, ou, Recueil de chansons, ariettes, vaudevilles & autres couplets choisis, avec les airs notés à la fin de chaque recueil. 13. recueil
[Paris]: [s.n.], [1761?]
1 v. (various pagings): music; 17 cm
With: 14. recueil

請求記号:
XDM3.94/C3639

<1761年刊行のシャンソン集。手書き・銅版印刷楽譜の例。>

Malmouché en Icarie



Malmouché en Icarie : impressions de voyage / paroles de A. Henrio ; musique de M. Juilio

Paris : Lenglard, [18-]
1 voice score ([2] p.) ; 35 cm

請求記号: XDM6.1/J938

<大型楽譜の例。歌詞・楽譜・挿絵。挿絵は石版画、楽譜は銅版画。>

相良匡俊氏について

1941年5月 鳥取県鳥取市にて出生。

1961年4月 東京大学教養学部入学。

1963年4月 東京大学文学部に進学し、1965年に卒業。東京大学大学院人文科学研究科西洋史学専修課程を経て、博士課程に進学。

1971年よりパリ第1大学（パンテオン＝ソルボンヌ校）第3博士課程へ留学。

1975年3月 東京大学大学院人文科学研究科満期退学。

1975年4月より法政大学第一教養部兼任講師に着任。1976年4月法政大学第二教養部助教授、1983年11月法政大学社会学部助教授を経て、1986年4月より法政大学社会学部教授。

2012年3月 退職。

専門分野は19世紀・20世紀のフランスの歴史。

主な著書に『世界の歴史と文化・フランス』（共著、新潮社、1983年）、M. シュヴァリエ『労働階級と危険な階級』（共訳、みすず書房、1993年）、『歴史として、記憶として』（共著、御茶の水書房、2013年）。『社会運動の運びと一転換期パリに生きる』が没後2014年に山川出版社から刊行された。

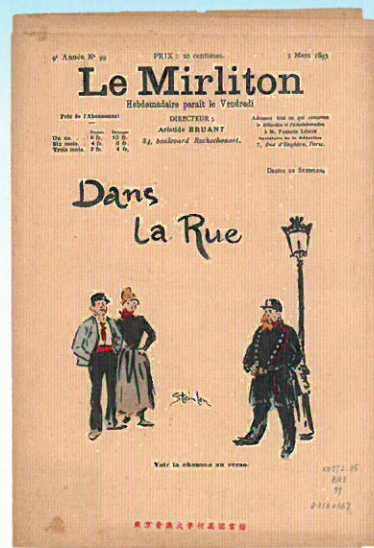
コレクションのパンフレットを図書館1階受付で配布しております（お一人様1部まで）。

コレクションのサイトもご覧ください。

<http://tokyo-ondai-lib.jp/collection/sagara>



Le mirliton



Le mirliton / directeur, Aristide Bruant
9e année, no 99
Paris : [Le Cabaret du Mirliton], 1893
8 p. : ill. ; 28 cm

請求記号:
XD772.35/B83/99

<シャノワールの出身で、独自のキャバレーをもったアリストイド・ブリュアンのお店、ル・ミルリトンの機関紙。1893年3月3日号。ブリュアンは出版活動に意欲的で、この新聞の他、自分の歌集、パリの下町風俗を特集する雑誌などを刊行した。>

L'éclipse



L'éclipse : journal hebdomadaire, no 88 (Aou. 1869) / directeur, F. Polo [Paris]: [s.n.], 1869
4 p. : ill. ; 48 x 33 cm

請求記号:
XDM0.8DROM/Sa18-1
(資料劣化のため代替資料での提供)

<個人を題材にして風刺画を表紙に描いた1860年代の代表的な新聞『エクリプス』。1869年8月22日号。テレザを描く。>